

【2013年3月期第2四半期（中間）決算記者会見資料】

①契約の状況等

		2012年9月期		12年3月期	11年9月期	
			12/3期比			11/9期比
新契約年換算保険料	(百万円)	4,568	—	578.2%増	3,743	673
うち第三分野	(百万円)	—	—	100.0%減	0	0
保有契約年換算保険料	(百万円)	172,243	0.4%増	0.5%減	171,574	173,115
うち第三分野	(百万円)	3,938	4.5%減	8.9%減	4,122	4,324
保険料等収入	(百万円)	67,155	—	251.7%増	66,693	19,096
うち個人保険分野	(百万円)	67,038	—	261.5%増	65,953	18,544
うち団体保険分野	(百万円)	113	—	73.2%減	711	424
新契約高	(百万円)	61,414	—	428.8%増	52,206	11,614
保有契約高	(百万円)	1,937,388	2.6%減	2.7%減	1,988,614	1,990,944
解約・失効高	(百万円)	40,162	—	2.1%減	92,372	41,039
解約・失効率	(%)	2.02	—	0.07 ^ホ イト上昇	4.39	1.95

※保険料等収入以外は個人保険+個人年金保険であります。

※12/3期比、11/9期比は増減率(解約・失効率は増減^ホ イト)であります。

※年換算保険料の対象は個人保険と個人年金保険であります。年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額等であります(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)。

※保険料等収入は損益計算書ベースであります。

※保険料等収入のうち個人保険分野は個人保険+個人年金保険、団体保険分野は団体保険+団体年金保険の合計保険料であります。

※解約・失効は、失効後復活契約を失効と相殺せずに算出(2012年9月期、11年9月期の解約・失効率は年換算前)しております。

②資産の状況等

		2012年9月末		12年3月末	11年9月末	
			12/3末比			11/9末比
総資産	(百万円)	1,401,358	0.2%増	1.6%増	1,399,123	1,379,017
実質純資産額	(百万円)	98,841	2.9%増	6.9%増	96,040	92,431
実質純資産額/一般勘定資産	(%)	17.6	1.1 ^ホ イト低下	0.3 ^ホ イト低下	18.7	17.9
ソルベンス・マージン比率	(%)	525.3	28.4 ^ホ イト低下	12.8 ^ホ イト上昇	553.7	512.5
旧基準によるソルベンス・マージン比率	(%)	—	—	—	—	571.5

※12/3末比、11/9末比は増減率(実質純資産額/一般勘定資産及びソルベンス・マージン比率は増減^ホ イト)であります。

③基礎利益・逆ざや

		2012年9月期		12年3月期	11年9月期	
			12/3期比			11/9期比
基礎利益	(百万円)	△ 5,553	—	64.5%減	4,865	△ 15,664

※11/9期比は増減率であります。

		2013年3月末の予想	2012年3月末の実額
逆ざや額	(百万円)	2,000	2,727

④準備金

		2012年9月末		12年3月末	11年9月末	
			12/3末比			11/9末比
責任準備金(除く危険準備金)	(百万円)	1,315,515	7,410増	30,151増	1,308,104	1,285,363
うち一般勘定(除く危険準備金)	(百万円)	476,419	53,938増	54,604増	422,481	421,815
うち特別勘定(除く危険準備金)	(百万円)	839,095	46,527減	24,452減	885,623	863,548
価格変動準備金	(百万円)	444	17増	31増	427	413
危険準備金	(百万円)	42,559	2,805増	5,397増	39,753	37,161
うち危険準備金Ⅰ	(百万円)	8,816	22増	44増	8,793	8,771
うち危険準備金Ⅱ	(百万円)	276	—	208減	276	484
うち危険準備金Ⅲ	(百万円)	33,159	2,800増	5,601増	30,358	27,558
うち危険準備金Ⅳ	(百万円)	307	18減	39減	325	347
危険準備積立金	(百万円)	—	—	—	—	—
価格変動積立金	(百万円)	—	—	—	—	—

※12/3末比、11/9末比は増減実額であります。

⑤含み損益

	(百万円)	2012年9月末		12年3月末	11年9月末
		12/3末比	11/9末比		
有価証券		14,660	3,545増	3,850増	11,114
うち国内株式		—	—	—	—
うち国内債券		14,660	3,545増	3,902増	11,114
うち外国証券		—	—	—	—
不動産		—	—	—	—

※12/3末比、11/9末比は増減実額であります。

⑥運用実績と計画

	上期実績	下期計画
国内株式	0減	市場金利の変動に対して資産と負債のキャッシュ・フローの中立化のために最適なポートフォリオを保険商品の特性ごとにあらかじめ定め、運用を行ってまいります。具体的には、確定利付資産によるキャッシュ・フロー・マッチを主体とした運用を行ってまいります。
国内債券	56,346増	
外国株式等	—	
外国債券	—	
不動産	0減	

※上期実績は帳簿価額ベースでの増減実額を記載しております。

⑦資産の損益がゼロになる水準

	2012年9月末時点
国内株式（日経平均）	（円） 上場株式を保有していないため算出しておりません。
国内株式（TOPIX）	（ポイント） 上場株式を保有していないため算出しておりません。
国内債券	（%） 1.1%程度
外国証券	（円） 外国証券を保有していないため算出しておりません。

※国内債券は10年新発国債利回り換算し、小数点第1位まで算出しております。

⑧2013年3月期の業績見通し

	2013年3月期の予想
保険料等収入	(百万円) 160,000
基礎利益	(百万円) 8,000
保有契約高	(百万円) 1,900,000
保有契約年換算保険料	(百万円) 170,000

⑨銀行との資本持ち合いについて

i 銀行からの拠出(総額)

	2012年9月末
基金(株式)に対する拠出	(百万円) —
劣後ローン等	(百万円) —

ii 銀行への拠出(総額)

	2012年9月末
保有している銀行株(時価総額)	(百万円) —
劣後ローン等	(百万円) 6,999

※銀行への拠出の劣後ローン等は、劣後債であります。

⑩職員数

	(人)	2012年9月末		12年3月末	11年9月末
		12/3末比	11/9末比		
営業職員		—	—	—	—
内勤職員		229	23.2%減	30.2%減	298

※12/3末比、11/9末比は増減率であります。

①銀行窓販の状況

			2012年9月期		12年3月期	11年9月期
				11/9期比		
変額年金保険	新契約件数	(件)	—	—	—	—
	金額 (収入保険料)	(百万円)	—	—	—	—
定額年金保険	新契約件数	(件)	—	—	—	—
	金額 (収入保険料)	(百万円)	—	—	—	—

※変額年金保険及び定額年金保険の販売を休止しております。

			2012年9月期		12年3月期	11年9月期
				11/9期比		
一時払終身	新契約件数	(件)	8,832	434.9%増	7,940	1,651
	金額 (収入保険料)	(百万円)	60,881	431.9%増	52,037	11,445
一時払養老	新契約件数	(件)	—	—	—	—
	金額 (収入保険料)	(百万円)	—	—	—	—

※銀行には信用金庫を含んでおります。

※11/9期比は増減率であります。

※金額の欄は、一時払保険料を記載しております。

※一時払養老保険の取り扱いはありません。

<全面解禁商品>			2012年9月期		12年3月期	11年9月期
				11/9期比		
平準払	新契約件数	(件)	13	—	—	—
収入保障保険	金額 (収入保険料)	(百万円)	0	—	—	—

※金額の欄は、1年分の保険料に相当する金額を記載しております。

その他質問項目（2012年9月）

○東日本大震災に関する保険金・給付金等支払額

保険金・給付金等支払額	約1億円
うち2012年9月期支払額	—

○欧州5カ国に対するエクスポージャー※

		2012年9月末	12年3月末	11年9月末
国債	(億円)	—	—	—
国債以外のエクスポージャー	(億円)	—	—	—
合計	(億円)	—	—	—

※一般勘定においてポルトガル・イタリア・アイルランド・ギリシャ・スペイン各国に対する投融資はありません。

○変額年金保険等の最低保証に係る一般勘定の責任準備金 繰入・戻入の状況

		2012年9月期	12年3月期	11年9月期
変額年金保険等の最低保証に係る 一般勘定の責任準備金 繰入・戻入	(億円)	112	△ 21	216
相場変動に起因する繰入額	(億円)	112	△ 21	216
新契約高に対応する繰入額	(億円)	—	—	—

※戻入額についてはマイナスで表示しております。